

TQC実践事例

【第9回 全国都市改善改革実践事例発表会 燕市発表事例】

テーマ	太陽の恵みを受けて世界へ 羽ばたくつばめっ子	年度	平成 26 年度
------------	---------------------------	-----------	----------

発表概要

市内の小中学校や企業の屋上を太陽光発電事業者に貸し出し、その賃貸料収入を活用して子どもの英語教育を推進し、世界で活躍する人材育成に取り組む、横断的な事業連携について発表しました。

改善内容・成果等

●内容

「Jack & Betty プロジェクト」では、英語スピーチコンテストで優秀な成績を収めた子どもたちを親善大使として海外に派遣しています。しかしながら、費用がかさむことからその財源が課題でした。そこで、「子ども応援 おひさまプロジェクト（太陽光発電「屋根貸し」事業）」による収入を活用することで事業費の改善を行いました。

- ・「子ども応援 おひさまプロジェクト」は、「屋根貸し事業」の実施により、太陽光発電の普及を図ると同時に、太陽光（おひさま）から生まれる収益を「燕市子ども夢基金」に寄附していただき、子どもたちの健やかな育成に役立てる取り組みです。

[成果]16の事業者や施設の屋根に1.8メガパネルを設置
⇒年間約200万円の収入につながっています。

- ・平成25年度から「子ども応援 おひさまプロジェクト」で得られる収入を、子どもたちを親善大使として海外へ派遣するための費用の一部に活用しています。

[成果]平成25年度
アメリカ
平成26年度
オーストラリア
各年度12名を派遣

